

氏名	村田健児	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	運動器理学療法学、基礎理学療法学				
学位	博士(健康科学)				
学歴	2005年4月 - 2009年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 2012年4月 - 2014年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修修了 2015年4月 - 2018年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程修了				
経歴	2016年2月 - 2016年8月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 非常勤職員・非常勤講師 2016年9月 - 2017年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教(産休代替) 2018年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教				
所属学会(役職)	日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会(学術局編集部)、専門リハビリテーション研究会(編集委員)、肩関節学会(準会員)、日本軟骨代謝学会、日本下肢救済学会・足病学会、日本徒手理学療法学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	みるみるすっきり体型に! 肩甲骨はがし	共著	TJMOOK, 宝島社	藤縄理, 村田健児	2017年5月
2					
3					
(2) 論文					
1	Controlling abnormal joint movement inhibits response of osteophyte formation	共著	Cartilage, First Published April 11, 2017	Murata K, Kokubun T, Morishita Y, Onistuka K, Fujiwara T, Nakajima A, Fujino T, Shimizu D, Takayanagi K, Kanemura N	2017年4月
2	Key Determinants of Anterior Cruciate Ligament Spontaneous Healing	共著	Journal of Osteoporosis Physical Activity	T. Kokubun, N. Kanemura, K. Murata, H. Shono, T. Kanoh, Y. Oka, K. Ozone, Y. Morishita, H. Hayashi, K. Takayanagi	2017年10月
3	Exercise enhances cognitive function and neurotrophin expression in the hippocampus accompanied by changes in epigenetic	共著	Neuroscience letters 665 67-73	Maejima H, Kanemura N, Kokubun T, Murata K, Takayanagi K	2017年11月
(3) 学会発表					
1	Effects of aging and treadmill exercise on cognitive function and the expression of BDNF in the hippocampus	共著	Experimental Biology, Chicago USA. 5(4): 208	○Maejima H, Kanemura N, Kokubun T, Murata K, Takayanagi K.	2017年4月
2	関節軟骨変性過程における関節不安定性と骨棘形成の関連	共著	第52回日本理学療法学会 大会. 千葉	○村田健児, 国分貴徳, 森下佑里, 中島彩, 鬼塚勝哉, 藤原秀平, 藤野努, 高柳清美, 金村尚彦	2017年5月
3	関節不安定性の制動が膝関節軟骨異化反応に及ぼす影響-組織学的・運動学的分析-	共著	第52回日本理学療法学会 大会. 千葉	○鬼塚勝哉, 村田健児, 国分貴徳, 藤原秀平, 中島彩, 森下佑里, 高柳清美, 薄直宏, 金村尚彦	2017年5月
4	走行運動による中枢神経活性化因子の発現動態	共著	第52回日本理学療法学会 大会. 千葉	○金村尚彦, 村田健児, 国分貴徳, 今北英高, 武本秀徳, 森山英樹, 前島洋, 高柳清美	2017年5月
5	異常運動の制動が関節軟骨に与える組織学的影響	共著	第52回日本理学療法学会 大会. 千葉	○三井直人, 国分貴徳, 塚本菜, 村田健児, 金村尚彦	2017年5月

6	ラット前十字靭帯自己治癒過程における膠原線維の顕微鏡的観察	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○森下佑里, 金村尚彦, 国分貴徳, 村田健児, 林弘之, 高柳清美	2017年5月
7	加齢ラットに対するトレッドミル走行運動が脊髄前角エリアにおけるGDNFの発現に与える影響	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○中本幸太, 村田健児, 国分貴徳, 白勢陽子, 桑原希望, 金村尚彦	2017年5月
8	末梢神経損傷モデルラットに対する運動介入が神経筋接合部の形態変化に与える影響	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○峯岸雄基, 中本幸太, 今北英高, 武本秀徳, 国分貴徳, 村田健児, 金村尚彦	2017年5月
9	矢状面上の体幹質量中心位置の変位は前額面の歩行ダイナミクスに影響する	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○藤野努, 国分貴徳, 金村尚彦, 久保田圭祐, 團尾萌香, 村田健児, 喜多俊介, 高柳清美	2017年5月
10	走行運動が老齢・中年ラット脊髄における脳由来神経栄養因子とシナプス関連タンパクの発現に及ぼす影響	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○白勢陽子, 桑原希望, 中本幸太, 木曾波音, 国分貴徳, 村田健児, 金村尚彦	2017年5月
11	ラット末梢神経損傷モデルにおける経時的運動介入が神経再生に与える影響	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○桑原希望, 白勢陽子, 中本幸太, 木曾波音, 国分貴徳, 村田健児, 金村尚彦	2017年5月
12	関節内周辺組織は, 前十字靭帯損傷の自己治癒に寄与するか?	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○国分貴徳, 金村尚彦, 村田健児, 藤野努, 高柳清美	2017年5月
13	地域在住高齢者の骨密度・体力・QOLおよび食事内容の検討	共著	第52回日本理学療法学会学術大会, 千葉	○藤縄理, 菊本東陽, 須永康代, 村田健児, 善生まり子, 内山真理, 萱場一則, 廣瀬圭子, 遠藤直人	2017年5月
14	関節不安定性が関節内構成体に及ぼす影響について	共著	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 長野	○村田健児, 国分貴徳, 鬼塚勝哉, 中島彩, 藤原秀平, 森下佑里, 高柳清美, 金村尚彦	2017年9月
15	歩行中の上肢運動における運動学的協調構造の解明	共著	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 長野	○藤野努, 金村尚彦, 国分貴徳, 村田健児, 高柳清美	2017年9月
16	損傷靭帯自己治癒過程における創傷治癒関連遺伝子の網羅的発現解析	共著	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 長野	○森下佑里, 金村尚彦, 国分貴徳, 村田健児, 高柳清美	2017年9月
17	変形性膝関節症における関節運動の変化が疼痛関連因子に与える影響	共著	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 長野	○中島彩, 村田健児, 国分貴徳, 森下佑里, 藤原秀平, 高柳清美, 金村尚彦	2017年9月
18	前十字靭帯損傷後の関節運動適正化は, 運動に伴う過度な炎症を抑制し治癒に貢献する	共著	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 長野	○国分貴徳, 金村尚彦, 村田健児, 森下佑里, 庄野仁美, 小曾根海知, 高柳清美	2017年9月
19	異なる週齢ラットに対する同強度の運動介入がPI3K/Akt 経路の活性化に与える影響	共著	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 長野	○岡優一郎, 白勢陽子, 桑原希望, 木曾波音, 中本幸太, 国分貴徳, 村田健児, 金村尚彦	2017年9月
20	Influence of nerve regeneration on anterior cruciate ligament injury healing process in a rat model	共著	Science for Neuroscience 47th annual meeting	○N. Kanemura, T. Kokubun, Y. Morishita, K. Murata, A. Nakajima, K. Matsui, K. Onitsuka, S. Fujiwara	2017年11月
21	Activation of neuroplasticity pathways in the rat spinal cord through treadmill exercise	共著	Science for Neuroscience 47th annual meeting	○Y. Oka, Y. Shirose, N. Kuwabara, K. Nakamoto, T. Kokubun, K. Murata, N. Kanemura	2017年11月
22	高負荷運動は膝蓋大腿関節において膝蓋骨軟骨の変性に影響する	共著	第26回埼玉県理学療法学会, 埼玉	○藤原秀平, 村田健児, 鬼塚勝哉, 金村尚彦	2018年1月
23	Validation Verification Of Controlled Abnormal Joint Movement Model In Mice	共著	Orthopaedic Research Society Annual meeting 2018, USA	○Y. Oka, T. Kokubun, K. Murata, T. Kano, K.Ozone, N. Kanemura	2018年3月
24	Gene Expression Analysis Identifies Key Genes For Spontaneous Healing Anterior Cruciate Ligament After Complete Injury In Rats	共著	Orthopaedic Research Society Annual meeting 2018, USA	○T. Kokubun, N. Kanemura, K. Murata, H. Shono, K.Ozone, Y. Morishita, Y. Oka, T. Kano, H. Hayashi, K Takayanagi.	2018年3月
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省 科学研究費補助金(若手B)	関節不安定性に着目した軟骨変性メカノバイオロジカルの解明	H29-H31	
2				
3				
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	該当なし			
2				
3				
(2) 演習				
1	該当なし			
2				
3				
(3) 実習				
1	該当なし			
2				
3				
(4) 論文指導				
1	該当なし			
2				
3				
(5) その他				
1	春日部市立看護専門学校(非常勤講師)	2017.04~2017.07	人体の構造と機能に関する講義と試験を担当した	
2	帝京科学大学 理学療法学科(非常勤講師)	2017.10~2017.11	運動学実習において、秤を用いた重心の計測とその意義についての実習を担当した	
3	国立リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科(非常勤講師)	2017.11	運動学(肩関節)に関する講義と試験を担当した	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
2				
3				
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	公益社団法人 埼玉県理学療法士協会	学術編集委員	2016.04- 現在	
2	専門リハビリテーション研究会	学術編集委員	2017.04- 現在	
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	該当なし			
2				
3				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会 奨励賞	理学療法士学会	2017.9.26 授賞式	

2	第3回 日本運動器理学療法学会 優秀賞	理学療法士分科学会	2017.9.26 授賞式
3	公立大学法人 埼玉県立大学 学術研究活動 学生表彰受賞	埼玉県立大学	2017.3.13 授賞式
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		